

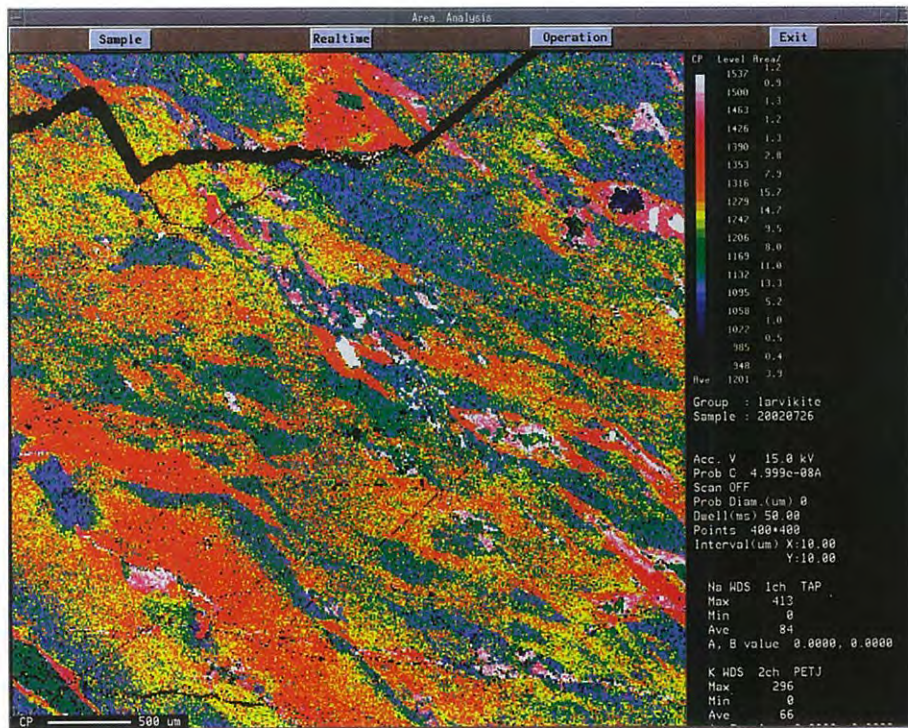
## ラルビカイト長石

<中野 聡志・加賀 喜子>

ノルウェー南端部から産するラルビカイトは、その長石が青白い閃光を発する美しい花崗岩である。その美しさから世界中で石材として活用されている。含まれる長石類の鉱物学的意義については、本号本文で紹介している。



1. ブルーパールという石材名が与えられている代表的ラルビカイトの研磨片(左右幅9.5cm; 岐阜県関ヶ原石材(株)提供).
2. 1.の研磨片の一部を拡大した接写写真(左右幅5cm). 特に中央上下付近の長石結晶が、強い閃光を発している.



3. ラルビカイト長石のX線マイクロアナライザー(JEOL JXA8800)による反射電子線マップ(CP). マップは、疑似カラーで表現されている。左下から右上方向に、大小の(001)劈開が走っている。これまでの“常識”と異なり、これらの劈開にやや斜交して発達しているさざ波模様が、ラルビカイト長石の特徴である。赤色さざなみ長石部分と緑色さざなみ長石部分が基本的なものであり、黄色さざなみ部分は2長石のラメラ状混合部分(パーサイト組織)を表している。